OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

| | |
|---|---|
| Title | 堺市における地域歯科保健 |
| Author(s) | 安福, 美昭 |
| Citation | 大阪公衆衛生. 1988, 54, p. 15-17 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/83709 |
| rights | |
| Note | |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

# 〔2〕堺市における地域歯科保健

堺市衛生部地域保健課　安福　美昭

## 1．はじめに

堺市は人口約81万人で、大阪府下２番目の保健所法による政令市である。現在、市内には４か所の保健所と２か所の保健センターがあり、歯科医師１名と歯科衛生士７名とが勤務している。乳幼児のう蝕の減少傾向に伴う歯科保健指導の見直しと、成人・老人に対する地域歯科保健の充実の必要性に直面している現在、これまでの堺市における地域歯科保健活動を紹介し、今後の展望を述べたい。

## 2．乳幼児歯科保健

### 2－1．乳幼児歯科保健の流れ

乳幼児に対しては、図１に示すように、４か月、10か月、１歳６か月および３歳における定年齢的な歯科相談あるいは歯科検診、さらに、その事後指導および一般小児を対象とする歯科相談の場としての「子どもの歯相談室」を行っている。

### 2－2．１歳６か月児および３歳児健診の現状

堺市における母子管理システムが現在の体制になった昭和56年から昭和62年までの７年間の、１歳６か月児および３歳児健診の結果をまとめると、以下のようになる。

(1)　受診状況

堺市の乳幼児人口は、実数、構成比ともに年々減少しており、それにともなって受診率は向上しているものの、受診者数は減少している。しかしこの受診率（昭和62年度の実績１歳６か月児＝94.0%、３歳児＝89.0%）は、他の地域と比較すると同等か、もしくはそれより高い。

(2)　う蝕罹患

１歳６か月児では、う蝕罹患者率は 5.5から 7.5%の間で変動しており、また、一人平均う蝕歯数はわずかに減少している。

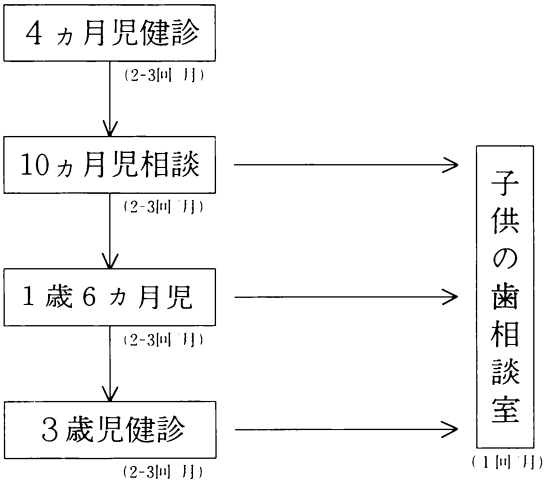



**図１　堺市における乳幼児健診の流れ**

また、３歳児においては、う蝕罹患者率は50.2から46.2%へと減少しているが、一人平均う蝕歯数にはあまり変化はみられない(2.3から2.1本）すなわち、う蝕罹患者一人当たりのう蝕歯数はやや増加していると考えられ、この結果は、３歳児におけるう蝕のない者とう蝕歯を比較的多く有するものとの両極化傾向を示唆している。

これらの結果を、昭和61年度の厚生省による集計結果と比較すると、堺市における乳幼児のう蝕罹患状態は、３歳児において大阪府下（大阪市を除く）ではやや劣るものの、全国的には概して良好であるといえる。(表１)

### 2－3．乳幼児歯科保健指導について

堺市では、生活習慣の改善および歯ブラシ指導を中心にして、早くから歯科保健指導を行ってきた。昭和62年に堺市宿院保健所で３歳児健診を受診した乳幼児を対象として、３歳児のう蝕罹患状態と１歳６か月時の生活状

表１　堺市と他の地域との乳幼児のう蝕罹患状態の比較

| 地　域 | １歳６ヵ月児 | | ３歳児 | |
|---|---|---|---|---|
| | def％（％） | 一人平均def歯数（本） | def％（％） | 一人平均def歯数（本） |
| 堺 | 6.7 | 0.07 | 47.8 | 2.25 |
| 大阪府* | 8.6 | 0.11 | 46.4 | 1.88 |
| 都道府県平均* | 7.3 | 0.21 | 59.7 | 3.14 |
| 政令市・特別区平均 | 6.9 | 0.20 | 56.9 | 2.93 |

＊政令市・特別区を除く（厚生省児童家庭局母子衛生課調査、昭和61年度）

態ー食欲、間食回数、間食内容、飲み物、母乳飲用、哺乳ビンの使用、歯磨き状況、さらに、歯科保健指導等との関連性について調査した。その結果、以下のようなことがわかった。

(1)　１歳６か月時の生活状態のうち、間食回数、ジュース類の飲用、母乳飲用が３歳時のう蝕罹患と強い関連性がある。

(2)　１歳６か月児の要指導者を対象とした「子どもの歯相談室」における指導は、３歳時のう蝕予防には必ずしも効果的には結びついていない。

**２ー４．乳幼児歯科保健の総括**

これまでの活動によって、う蝕罹患状態は着実に改善されつつある。しかし、１歳６か月から３歳にかけてのう蝕の急増と悪化が未だみられ、その年齢に焦点を当てた、より効果的なう蝕罹患に対するスクリーニング法と指導体制の必要性が明らかになった。

## ３．成人歯科保健

これまでの堺市における成人歯科保健活動の一部を、以下に紹介する。

**３ー１．すこやか健診に併設した歯科相談**

保健所内の活動としては、老人保健法に基づく40歳以上の一般健康診査（すこやか健診）に併設した歯科相談があり、昭和62年の実績では、86回実施して665名が相談を受けた。鳳保健所における調査によると、相談したいことがあると答えたものは全体の55.4％であり、歯ぐきからの出血や腫れなどの歯周疾患の自覚症状を訴えているものはそれぞれ20.8、11.7％であった。それに対して、実際の相談結果からは、異常なしのものは全体の21.1％にすぎず、歯石や歯周疾患を有しているものはそれぞれ28.3、41.6％であり、う蝕を有しているものは23.7％であった。また、56.6％の者が喪失歯を有しており、そのうち32.3％が未処置であった。一人当たりの平均喪失歯数は、40、50、60、70歳以上でそれぞれ2.0、2.2、5.0、11.8本であり、60歳以降で急増していることがわかった。

**３ー２．市民検診における健康教育・健康相談**

保健所外の活動としては、市民検診（結核予防事業の一環で、それぞれの地区会場で行う）における健康教育・健康相談があり、昭和62年度の実績では、40回実施して受講者は2075名であった。その歯科相談の内容は、う蝕、歯周病に関することが最も多く、これらを合わせると半数を越え、その他にも歯科治療内容や予防に関することをはじめとして、多方面にわたっていた。また、歯科相談後の評価に関しては（昭和61年調査、表２）、歯科

相談を受けて良かったとするものが66.2%と多い半面、歯科相談があることを知らなかったとするものが79.7%と大多数を占めていた。さらに、歯科相談時に受診勧告を受けた者41.9%のうち、実際に受診したものは64.5%にすぎなかった。また、歯科相談時に歯科医師による検診を希望するものは62.6%と過半数を越えていた。

3－3．成人歯科保健の総括

成人の歯科疾患の罹患状況は、的確には把握されていない。これまでの結果から、成人においては特に歯周疾患が自覚症状以上に広く蔓延しており、その多くは要治療であることがわかった。また、歯科相談の内容はさまざまであるのに、地域での歯科保健活動への参加や歯科医院への受診が、他の年齢層に比べて困難な状況にある。すなわち、歯周疾患を中心とした成人の歯科疾患の、公衆衛生の面からの的確な把握法を確立することがまず必要であり、そして次に、歯科治療への受診をも含んだ、現実的な事後指導体制を確立することが必要である。

## 4．今後の展望

地域での歯科保健活動は、地域住民を対象とする口腔の健康状態の把握、次にそれに対する有効な歯科保健活動の立案と実践、さらに、その活動に対する再調査と評価が基本的な流れとなる。これまでの活動によってそれなりの成果はあがってきたものの、現在のところ、成人、乳幼児のいずれについても、その基本的な流れは十分には確立されていない。今後、成人・老人に対する歯科保健をはじめ包括的な地域歯科保健の確立に向けて、客観的な評価に耐える活動を推進していきたい。そのためには、堺市歯科医師会との協力関係はもちろんのこと、保健所における他職種との連携が、さらに重要となろう。

**表2　成人の歯科相談に関するアンケート集計結果**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 問1　歯科相談を受けてどうでしたか | 良かった | 普　通 | 良くない |
| | 49(66.2%) | 23(31.1%) | 2( 2.7%) |
| 問2　歯科相談があるのを知っていましたか | はい | 15(20.3%) | |
| | いいえ | 59(79.7%) | |
| 問3　歯科相談時、歯科医院へ行くように言われましたか | はい | 31(41.9%) | |
| | いいえ | 43(58.1%) | |
| 問4　上記質問で「はい」の方は、歯科医院へ行きましたか | はい | 20(64.5%) | |
| | いいえ | 11(35.5%) | |
| 問5　現在、市民検診の場で歯科医師による歯科検診を実施していませんが、今後 | 歯科医師による歯科検診を希望 | 46(62.2%) | |
| | 現状（歯科衛生士による歯科相談）でも良い | 24(32.4%) | |
| | 必要なし | 1( 1.4%) | |
| | 無記入 | 3( 4.1%) | |
| 問6　歯科相談後、実行している事がありますか | ある | 44(59.5%) | |
| | ない | 30(40.5%) | |